

ななつまつトレイン事業所 支援プログラム

法人理念	出会いに感謝し、笑顔で「和」を広げる。		
支援方針	<p>人と人が繋がり、「からだ」と「ことば」を育て、主体的に考え、行動して、自分の成長を感じられるように</p> <p>①親子、友達、支援者との絆の中、援助を行う。</p> <p>②「感覚、粗大、微細運動」の発達を促すように援助を行う。</p> <p>③「コミュニケーション、思考、行動調整」の発達を促すように援助を行う。</p> <p>④自分で考え、選び、決定し、行動していけるように援助を行う。</p> <p>⑤達成感・有能感を感じられるように援助を行う。</p> <p>⑥ありのままの自分を受け入れるように援助を行う。</p>		
営業時間	8時45分 ~17時00分	送迎実施の有無	無

支援内容

		1	2
対象児/項目		個別（2～5歳児）	集団（3歳・4歳・5歳児）
健康 生活		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を形成し生活リズムを身につけられるよう支援する。 ・生活に必要な基本的技能（排泄、衣類の着脱、身の回りの整理等）が獲得できるよう、活動の場面における環境の工夫を行いながら、子どもの状態に応じて適切な時期に適切な支援をする。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で、様々な遊びを通して学びが促進されるように環境を整える。（服・靴着脱・トイレトレーニング等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立を促す。（水分補給、衣服の着脱・トイレトレーニング等） ・個々の特性を配慮し、スケジュールを提示したり、活動の場面を区切って、何をするところか知らせたりする。 ・活動や作業の手順については、視覚的にわかりやすく提示する。

運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な姿勢の保持、各種運動・動作を楽しんで行えるように支援する。 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるように、遊び等を通して支援する。 ・人と一緒に活動することの心地よさを知る。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢変化しながらバランス調整を行いながら遊ぶ。 ・感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキットなどの運動遊びを通して、新しい活動に挑戦し、意欲的に参加するよう促して行く。 ・達成することだけを目標とするのではなく、その過程において友達の様子を見たり、自ら試したり、身体も気持ちも柔軟に対応するように働きかけていく。
本人への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、入ってくる情報を適切に処理できるように支援を行う。 ・注意の共有や切り替え、分散などその子どもに適切な働きかけを行う。 ・こだわりや感情の表出方法や抑制に対して、ステップを踏まえてコントロールするように支援を行う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことを生かし、遊びを広げていく。 ・活動を通して、注意を持続させたり切り替えたりすることができるように支援する。 ・自分の思いを知り、使用できる伝達方法で表現することを支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で個々の違いを知り、認め合う。そして自分の得意なことを認められることで自信をつけていく。 ・スケジュールを知らせたり、注意を持続し活動に参加したり、次の活動に行動が切り替えられるように支援を行う。 ・集団の中で、葛藤しながら感情の表出の方法や抑制する力を積み上げていく。
言語 コミュニ	<ul style="list-style-type: none"> ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。 	

<p>ケーショ ン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促し、体系的な言語を身につけることができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを円滑に行うために、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握する力を育てていく。
<p>人間関係 社会性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行う。 ・大人を介在して自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 ・遊びを通じて社会性の促進を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人遊びから並行遊び、協同遊びへと、友達とことば気持ち物のやり取りの仲介を行い、遊びが展開していくように支援を行う。 ・集団に参加するための手順やルールを理解し、こどもの思いに応じて、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 ・集団活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人への期待感や関心を高める関わりを行い、共感し、甘え、援助を求める関係を作っていく。 ・感覚運動遊び、象徴遊び、ルールのある遊びへと展開していく。 ・遊び等を通じて人の行為を模倣することにより、社会性や対人関係を育む支援を行う。 	
<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの信頼感を育み、家族や周囲の人と安定した関係を形成する。 ・家族の子育てに関する困りごとに対して、相談援助を行う。 	
<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路や移行先の選択について家族への相談援助を行う。 ・保育所、小学校等への移行先との支援方針・支援内容の共有や、子どもの状態・親の意向・支援方法についての伝達を行う。 	
<p>地域支援 地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通う保育所等と情報共有や連携、支援方法や環境調整等に関する会議を行う。 ・個別のケース検討の会議の開催する。 	
<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会やケース会議を行い、子ども理解を深め、支援の内容、方法を話し合う。 	